

順位	河川名	地点名(所在地)	BOD 75%値 (mg/L)	前年値
1	男鹿川	男鹿川末流(日光市)	0.5未満	0.5
2	鬼怒川	川治第一発電所前(日光市)	0.5	0.5
2	湯西川	貯水池・湯西川ダム(日光市)	0.5	0.6
6	鬼怒川	上平橋(塩谷町)	0.6	0.9
13	男鹿川	五十里ダム(日光市)	0.8	0.6
13	鬼怒川	大迫泉橋(真岡市)	0.8	0.9
19	渡良瀬川	葉鹿橋(足利市)	0.9	1.3
19	男鹿川	中橋(足利市)	0.9	1.3
19	鬼怒川	鬼怒川橋(宇都宮市)	0.9	0.7
50	那珂川	川堰(那須烏山市)	1.2	1.1
56	那珂川	新那珂橋(那珂川町)	1.3	0.9
56	旗川	旗川末流(足利市)	1.3	1.3
56	渡良瀬川	新開橋(栃木市)	1.3	1.7
67	小貝川	三巴波橋(栃木市)	1.4	1.0
89	小貝川	三巴波橋(栃木市)	1.7	2.6
106	秋山川	秋山川末流(足利市)	1.9	1.9
122	矢場川	矢場川水門(足利市)	2.3	1.9

※国土交通省関東地方整備局調べ

国土交通省が管理する関東地方の1級河川142地点のうち、2022年に水質が最も良かったのは日光市の男鹿川末流だったことが15日までに、同省関東地方整備局の調査で分かった。同じく同市を流れる鬼怒川・川治第一発電所前・湯西川・貯水池(湯西川ダム)の2地点と、埼玉県の2地点の計4地点が2位に続いた。県内の調査対象17地点のうち8地点は前年に比べ水質が改善、全地点で人の健康や生活環境を維持する上で望ましいとされる環境基準を満たした。(柴田正人)

男鹿川末流水質1位 日光、2地点も2位に

(2023年7月16日付・下野新聞1面)



(170)

小学校中学年～高学年向け
年組

県内8地点で改善

調査は22年1～12月、県内の10河川17地点を含む同整備局管内1都8県の48河川で実施。川の汚れの程度を測る代表的な指標「生物学的酸素要求量(BOD)」を調べた。水の汚れは微生物により分解されることから、その際消費される酸素の量(BOD)の値が大きいほど水が汚れているという。

男鹿川末流の測定値は、検出下限値の1/2に当たり0.5mg/L未満。前年の調査では0.5mg/Lを測定し関東地方でトップ3の水質を誇ったが、さらに向上した形だ。2位の川治第一発電所前は前年と同じ0.5mg/L。湯西川ダムは前年の0.6mg/Lから0.1mg/L減少した。このほか、塩谷町の鬼怒川・上平橋を含め、県内からは4地点がトップ10に入った。

一方、前年のBODが2.6mg/Lと、県内の地点で

設 問

【1】県内17地点の「生物学的酸素要求量(BOD)」の値が、前年に比べて改善した地点はいくつありますか？

【2】国土交通省関東地方整備局のホームページで調べてみると、この142の調査地点は、関東地方の都県と山梨県・静岡県を流れる富士川も調査対象でした。全部で何都県になるでしょう？また、関東地方の全部県名を漢字で答えましょう。

【3】次の()に当てはまる数や語を、記事の中から選んで書きましょう。

・この調査は、()年1月～12月に実施された。その結果、県内の(イ)地点はトップ10に入っている。(ウ)の整備や地域のみなさんのさまざまな取り組みにより環境の改善が改善されている。

【4】川をきれいにするために、自分たちでできることにはどのようなことがあるのでしょうか？国土交通省関東地方整備局のホームページなどで調べてみて、友達や家

唯一2mg/Lを上回っていた栃木市の巴波川・巴波橋は1.7mg/Lに改善。6地点の測定値が前年より増加し、足利市の矢場川水門が2.3mg/Lで最も高かった。同整備局の担当者は「全体的には年々、環境が改善

されている。下水道整備や地域の皆さんのさまざまな取り組みが奏功している」

族と話し合って実行してみましょう。